

国立大学法人徳島大学・国立大学法人鳴門教育大学入札監視委員会会議議事概要

開催日及び場所	平成26年 2月27日(木) 徳島大学日亜会館3階共用室	
委員	委員長 竹内 洋一 (公認会計士・税理士) 委員 矢田 茂明 (弁護士) 委員 秋山 明寛 (大学施設部長)	
審議対象期間	平成25年 1月 1日～平成25年12月31日	
抽出案件(合計)	8件	(備考)
工事(小計)	5件	今回の審議対象期間においては、再苦情の申立ての審議依頼はなし。
一般競争入札(政府調達に関する協定対象工事)	2件	
一般競争入札(上記工事を除く)	3件	
工事希望型競争入札	件	
通常指名競争入札	件	
随意契約	件	
設計・コンサルティング業務(小計)	3件	
公募型プロポーザル方式	件	
簡易公募型プロポーザル方式	件	
簡易公募型プロポーザル方式(拡大)	2件	
標準型プロポーザル方式	件	
一般競争入札	件	
随意契約	1件	
委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問	回 答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし	

意見・質問	回答
<p>1. 平成25年1月～12月に契約した建設工事及び設計・コンサルティング業務について</p> <p>(事務より説明)</p> <p>1) 建設工事及び設計・コンサルティング業務の入札・契約手続の運用状況について報告を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特に意見なし</li> </ul> <p>2) 抽出案件の審議</p> <p>○建設工事 一般競争入札方式(政府調達に関する協定適用対象工事)</p> <p>①徳島大学(病院)外来診療棟新営その他工事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第2回入札で辞退された業者が4者あるが、辞退の理由について把握されているか。</li> <li>・辞退理由として推測される理由はあるか。</li> <li>・総合評価方式で実施しているが標準点と加算点にほとんど差がない状況であるのが、通常であるのか。得点にほとんど差がない状況は、総合評価方式として適切であるのか。価格競争と大差がないのではないのか。</li> <li>・辞退は自由であると思うが、ペナルティ等の制度はないのか。</li> </ul> <p>②徳島大学(病院)外来診療棟新営その他機械設備工事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・加算点の評価結果表の工事全般の施工計画が評価のウエイトが10点であるが各社2点と低い点数になっている理由はあるか。</li> <li>・3者しか応札がなかった理由はあるか。</li> <li>・低落札の最大の理由は何か。</li> <li>・予定価格について機械設備のみ積算が甘いのではないのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・辞退の理由については、把握していない。電子入札になっているので、各業者に問合せ等を行っていない。</li> <li>・竹中工務店の第1回入札価格と第2回入札価格の差額を見てわかるように、この金額が最大限であったのではないかと推測している。</li> <li>・総合評価審査委員会に業者名を出さずに審査を実施している。</li> <li>・落札後の辞退については、ペナルティはあるが落札前については問題がない。</li> <li>・評価基準については、適切であるが、あまり加点すべき工夫が見られないとなっているので、基本的に本工事の全体計画は良いがそれ以上の加点するような項目がなく、普通の工程であった。</li> <li>・官報公告もしており、規模の設定についても地域を広げており、クラスについても1,100点とA等級が参入できるようにしている。</li> <li>・低入札価格調査の実施概要に明記しているように資機材が安価で購入が可能であるというのが一番の理由である。</li> <li>・本工事の空調機器が一般的な汎用機器を多様に採用しているため、大量購入できる業者については機器の価格が下がる可能性は十分あると推測される。それ以外の場合については、中四国全体</li> </ul>

<p>・今後の予定価格算出に反映する仕組みになっているか。</p> <p>一般競争入札方式（政府調達に関する協定適用対象工事を除く。）</p> <p>①徳島大学（病院）基幹・環境整備（電気設備等改修）工事</p> <p>・R I が関係する技術的に難しい案件なので1者しか応札がなかったのか。</p> <p>・分割して分離発注はできなかったのか。電気設備と機械設備の予定価格の内訳はどうか。</p> <p>・分離発注することによってB等級が参入できるのではないのか。</p> <p>・何者ぐらい応札するか想定していたのか。</p> <p>・条件を満たした業者のリストで推測はできないのか。</p> <p>②鳴門教育大学（高島）環境整備（道路舗装等）工事</p> <p>・低入札価格調査の実施の方法については、どのような形式で調査されているのか。</p> <p>・書面等を提出してもらって判断しているのか。</p> <p>・大林道路を除く全ての応札者が低入札になっている。8割の業者が低入札になっているのは、予定価格に問題があるのではないのか。</p> <p>・実際に工事を施工して特に問題はなかったか。</p> <p>③鳴門教育大学（高島）総合学生支援棟新営工事</p> <p>・辞退の理由については、把握していないのか。</p> <p>・予定価格の設定に問題があったのではないのか。</p> <p>・第3回入札で不落となり、見積は1者しか聴取しなかったのか。</p>	<p>の納入価格を参考に平均的な値として算出している。</p> <p>・予定価格を積算する基準の数値としては、毎年見直しをしている。今後においては、物価上昇に伴う積算が問題であると懸念される。</p> <p>・資格を電気工事・管工事と幅を広げているが、結果として、2者の参加があったが1者が参加資格無しであったため、応札は1者となった。</p> <p>・電気設備は1億9千万円、機械設備は1億5千万円、建築が3千万円となっている。電気設備の分類に自家発電設備の改修の項目があるが、この項目は機械設備の範疇でも実施できる。文部科学省に相談したところ、両方参加できる条件にすることにより、参加業者も増えるメリットがあるのではないかと提案されて実施した。</p> <p>・今回の応札業者は、分離発注してもA等級となるので問題はない。</p> <p>・想定はできない。</p> <p>・近畿・中国地区まで範囲を広げている。A等級であれば何十者かあるのだが、実際の徳島県となればこのような結果になった。</p> <p>・業者と面談してそれぞれの内容について確認していく。</p> <p>・入札事情説明書の形式でそれぞれの内容について書類を提出してもらっている。</p> <p>・入札時期も事情にあったのか、通常の今までの過去の実績からも考慮すると本学の予定価格が高いとは思っていない。</p> <p>・特に問題はなかった。</p> <p>・辞退の理由については、把握していない。</p> <p>・適正な予定価格を算出している。入札時期の諸問題の関係があったのかもしれないが、予定価格算出時においては、適正であったと判断している。</p> <p>・総合評価の評価値の高い業者の1者から聴取した。</p> <p>・業者側からの見積書と予定価格と階差があった</p>
--	---

<p>・適切な話し合いをして随意契約になったのか疑問である。第1回金額でここまで金額を下げるのであれば、入札の段階で下げるべきではないか。</p> <p>○設計・コンサルティング業務 簡易公募型プロポーザル方式（拡大）</p> <p>①徳島大学（常三島）フロンティア研究センター 新営（設備）設計業務</p> <p>・説明書を受け取りにきた業者も1者のみだったのか。</p> <p>・複数の参加表明があっても良かったのではないか。</p> <p>・履行期限までの期間3ヶ月間が短すぎるということはないか。建築も同じように1者のみなのか。</p> <p>・1者のみの理由を適格に分析し、今後の改善の余地があるのではないか。</p> <p>・何者ぐらい発注があるか想定していたか。</p> <p>・参加表明の業者がない場合はどのような手続をしたのか。</p> <p>②鳴門教育大学（高島）講義棟等便所改修（設備） 設計業務</p> <p>・参加資格の対象となる県を4県にしており、高知県を対象としていない理由は何か。</p> <p>・環境配慮型プロポーザル方式を採用しているが、温室効果ガス等の排出の削減に配慮する内容をテーマとした技術提案とは、具体的にどのようなものがあったのか。</p> <p>・7回見積は多いのではないか。</p> <p>・便所の改修のみの設計であるにもかかわらず、教育・研究施設の指定が必要であったのか。</p> <p>・辞退された時は、もう1者と契約するのか。</p>	<p>箇所を協議し、会社に持ち帰り検討していただいた。</p> <p>・1者のみである。</p> <p>・四国地区だけであると参加表明が少なくなると推測されたので、参加資格を近畿、中国地区と範囲を広げているが、結果的に1者のみの参加表明となった。</p> <p>・建築については、3者の参加表明があった。</p> <p>・時勢や発注時期の絡みがあると思うのでその都度検討していく。</p> <p>・総数については想定していない。文部科学省の登録者数ぐらいは想定していた。</p> <p>・再度公示になり、地域指定を全国とし、規模も指定せずに実施する。</p> <p>・鳴門の土地柄を考慮して、近隣ということで設定しました。</p> <p>・消費エネルギー削減・効率的エネルギー運用の観点から節水器具、LED、人感センサーの省エネ。トータルでのランニングコスト・イニシャルコストを含めた今後の将来的なコストを見据えた提案がなされていたこと。管理経費等で人的な管理経費の削減。長寿命化の観点から材料の選定とか耐用年数を設定した提案がなされていたこと。省資源の観点からスクラップ&amp;ビルドの抑制という提案の中で設計段階での廃棄物の軽減などを考慮して採用した。</p> <p>・参考見積で予定価格を設定しているが、参考にした業者以外の業者が参加表明をした。4回目以降小刻みな見積価格となった。</p> <p>・実際の参加表明の業者が、教育・研究施設の設計を実施しており、十分参加表明があると判断し、講義棟、芸術棟等が教育・研究施設であるので同種工事の実績とした。</p> <p>・もう1者には、次点通知をしている。</p>
---	--

随意契約方式（予定価格省略）  
①徳島大学（病院）中央診療棟渡り廊下接続に伴う改修（設備）設計業務

- ・最終的な金額については、どのような評価をされているか。高いのか。低いのか。相当か。
- ・妥当であると判断しているが、3者から見積徴取して金額はどうか。
- ・金額が妥当であるといえるのか。
- ・一般競争入札でも良かったのではないか。
- ・履行期間が5ヶ月間とあるが、工事の進捗状況において何か対応しなくてはならない等の理由があったのか。
- ・外来診療棟の設計業者に合わせて発注できなかったのか。

（委員長より説明）

- ・辞退理由等、今後改善するためにどういった理由で競争参加が少なかったのか大学側としても把握しておいた方が良いのではないか。どこまでできるか難しいとは思いますが、なるべく問題があった案件については、どういった理由でこうなったということを含め検討していただきたい。
- ・分析して、入札監視委員会の意味合いとしては、どれだけ安く適正にできているか、傾向を見ながら分析をして業者が多く集まるように、予定価格が適正であったか、工期が適正であったか、資格が適正であったか、一つでも今年の段階で改善していただきたい。
- ・1者とか低入札とか高落札率については、説明責任があるので、できるだけ説明できよう努力していただきたい。
- ・今回の審議対象案件については、特に問題なく適切に処理されているとの審議結果である旨、本委員会において承認された、

2. その他  
（事務より説明）

再苦情処理については、申立てがなかった旨の報告を行った。

- ・今回は、300万円以下であるため、予定価格算出内訳書を作成していない。類似の設計でこの程度であると想定しており、基本的には価格は妥当であると判断した。
- ・300万円～290万円ぐらい。
- ・設計委託料を算定し、予定価格が300万円以下になっていることによって、随意契約とした。
- ・工期もあり、基本的に公告期間があると工期が短くなり、少額なので業者をすぐに選定できる随意契約で実施した。
- ・期間が長い理由として、現地調査を含んでおり寸法を測りながら設計業務を実施する必要がある、中央診療棟での業務が土日祝日にしかできない等の諸事情があった。調査期間、設計期間及び積算期間が必要であった。
- ・当初の計画の段階で把握できていたのであれば、合わせて発注できたかもしれないが、随意契約ではあるが競争という方式で実施した。

・特に意見なし

談合の疑義が生じた案件についてもなかった旨の報告を行った。

・特に意見なし

指名停止については、徳島大学において1件の報告を行った。

・特に意見なし

不調・不落については、徳島大学において1件の報告を行った。

・特に意見なし